

持続可能な開発のための高等教育に関する国際会議 ～ 2014年以降の高等教育のあり方～

International Conference on Higher Education for Sustainable Development: Higher Education Beyond 2014

日 時: 2014年11月9日(日) 9:30 - 18:00
会 場: 名古屋大学 豊田講堂
共 催: 国連大学、環境省、文部科学省、名古屋大学



参加登録はこちら

<http://www.c-linkage.com/for/hesd/>

参加登録締切: 2014年10月20日

こちらからも
ご登録いただけます



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



環境省
Ministry of the Environment



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

2005年からスタートした国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年(DESDecade of Education for Sustainable Development, 2005–2014年)が今年最終年を迎えるにあたり、本会議はこの10年を振り返り、高等教育機関による様々なイニシアティブがESDの促進に果たした成果を共有し、その教訓をもとに、2014年以降のさらなるESD強化に向けた高等教育機関のコミットメントを再検討するものです。また、学びや知識開発と研究における革新的な実践をより広め主流化していくことに重点をおき、高等教育機関の変革に向けての主要な課題と方策を明らかにします。本会議はまた、国連持続可能な開発会議(リオ+20)の時に発足した、高等教育サステナビリティ・イニシアティブ(HESI)をはじめとする高等教育機関の積極的な関与を議論するフォローアップ会議でもあります。

会議のプログラムは、全体会合のハイレベル・パネルディスカッションと分科会で構成されます。ハイレベル・パネルディスカッションでは、機関包括的アプローチや多様なセクターを巻き込んだ取組みの推進など、高等教育機関の変革において重点なテーマと持続可能な開発を加速する革新的な方策について議論します。

また分科会では、パネルディスカッションで提起された様々な課題についてさらに掘り下げて議論し、2014年以降のESD促進において鍵となる以下の5つの分野で高等教育機関が果たす役割について考察します。

- ① 政策の推進
- ② 学習環境と研修環境の転換
- ③ 教員と指導者の能力開発
- ④ 若者への支援
- ⑤ 地域レベルにおける持続可能な解決策の促進

本会議の成果は、11月10日から12日に名古屋市で開催されるESDに関するユネスコ世界会議の議論に反映されます。

| プログラム | | ※:日本語・英語の同時通訳有り |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 9:30–10:30 | オープニング セッション* | |
| 10:30–12:30 | セッション1: ハイレベル・パネルディスカッション* パネルディスカッション1. 機関包括的アプローチ パネルディスカッション2. 多様なセクターを巻き込んだ取組みの推進 | |
| 12:30–13:30 | ランチ | |
| 13:30–16:15 | 愛知学長懇話会主催 ESD大学生サミット (豊田講堂ホール) | 持続可能な開発のための高等教育に関する 国際会議 セッション2・セッション3(分科会) (豊田講堂シンポジウムおよび3階会議室) |
| 16:15–16:45 | 休憩 | |
| 16:45–17:45 | セッション4: 各分科会およびESD大学生サミットの報告* | |
| 17:45–18:00 | クロージング セッション* | |

●プログラムの内容は予告なく変更されることがございますのでご了承ください。